

# ガバナー補佐として1年を振り返り

## ガバナー補佐 西岡孝志様

今年度の地区の方針は三つありました。会員増強、公共イメージ向上、ロータリーデーの開催です。

### 会員増強

会員増強については、ガバナーは5年間という中期計画で500人会員を増やしたいという方針でしたが、今年度の目標達成は全くできませんでした。

5年間で500人会員を増やしたいという理由は、全国で北海道から九州まで34地区ありますが、その中で当地区が人口1万人あたりのロータリアンの人数が最下位だからです。

**日本全体では**、今年3月末会員数は8万5756人昨年6月末は8万5510人でしたから246人増加

**2580地区は**、今年3月末会員数は2911人昨年6月末は2870人でしたから41人増加です

**千代田グループは**、今年6月末の予想は565人昨年6月末は554人でしたから11人増加です。

この程度の会員増強しかできず非常に残念でした。今後も会員増強は大きなテーマです。引き続きご支援をお願い致します。

### 公共イメージの向上

東京RCは、2020年10月20日に100周年という節目を迎えて、記念すべき輝かしい年度だったので、数多くの企画を立てたのですが、コロナ禍で企画を縮小せざるをえませんでした。10月21日の帝国ホテルでの創立100周年の祝賀会も東京RCクラブの会員のみで開催されました。

「日本のロータリー100周年を祝う会」も盛大に行われる予定でしたが、対面での開催を見送り、オンラインでの開催となりました。

しかし、公共イメージ向上に活躍したクラブもあります。それは、コロナ対策として「コロナ禍の飲食マナー「五つの小」」というタイトルで6分半の動画を企画し、千代田区広報課、千代田保健所等の協力をえて会員全員で完成させたことです。この動画にRC名とロゴを入れマスコミに発表したことで、日本経済新聞に写真入りで掲載され、ロータリークラブの奉仕活動を広く世間に知らしめることができました。

### 中央分区のインターシティーミーティング

2020年11月9日に開催を予定していた、中央分区インターシティーミーティングを何とか開催しようと会議を重ねましたが、最終的には「多くの会員が集まる形式の会合は避けた方がよいのではないか」という多数意見でIMの中止を決定しました。

しかし、IMの中止を補うために、コロナの影響で孤立している社会的な弱者の人々と組織を対象に、ロータリーらしい奉仕活動を行うことこそ必要なことだと決議し、千代田グループでも数多くの奉仕活動を行いました。

代表的な奉仕活動は、①寄付先を選定し1千万円の寄付をする。②医療、福祉団体に対する医療防護服の提供をする。③一人親家族に福島県の食料（米）を支給する。④母子家庭の親子に対し、食品や果物を提供する等々です。



東京お茶の水RCでも、①千代田区の障害者共助会への支援②NPO法人「親子はねやすめ」への支援③国際的には、タイ・チェンライのアカ族の子ども達への支援などを行っていると同っています。

東京紀尾井町RCでも、地区補助金を利用して国際的な奉仕活動を行いました。タイ・パラオ郡の貧しい子ども達に、本や絵本を370冊、教材を170点、玩具や遊具を50点等支援しました。金額にして約70万円です。6月17日に現地で贈呈式を行いますので、この贈呈式の映像を東京の例会場に中継してタイと東京で交流することになっています。

以上、甚だ短い報告でしたがご静聴ありがとうございました。

来年度は、コロナ禍も多少は収まると思いますし、ガバナー補佐は東京お茶の水RCの牛島様が担当されますので大活躍されると信じています。皆様も応援をよろしく願います。